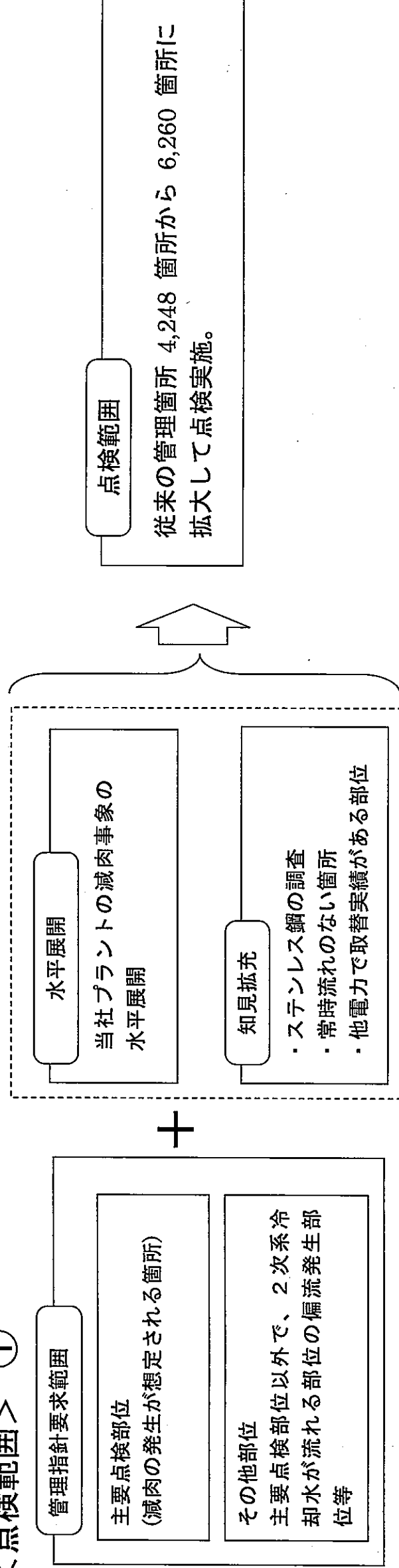


1. 6260箇所の肉厚測定を実施し、全対象箇所の減肉傾向を把握するとともに、測定結果に応じて配管取替を行う。

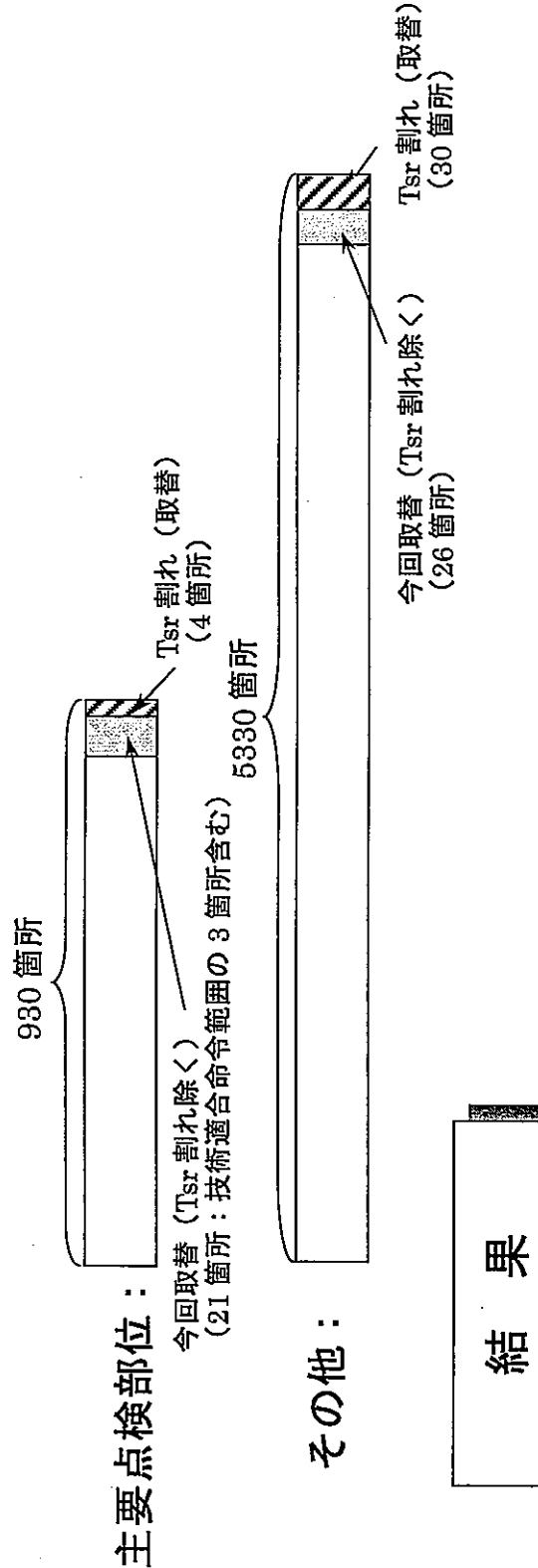
2. 点検結果から得られた知見を整理し、管理指針の妥当性を確認する。⇨ 2

1. 点検結果および対応

<点検範囲> ①



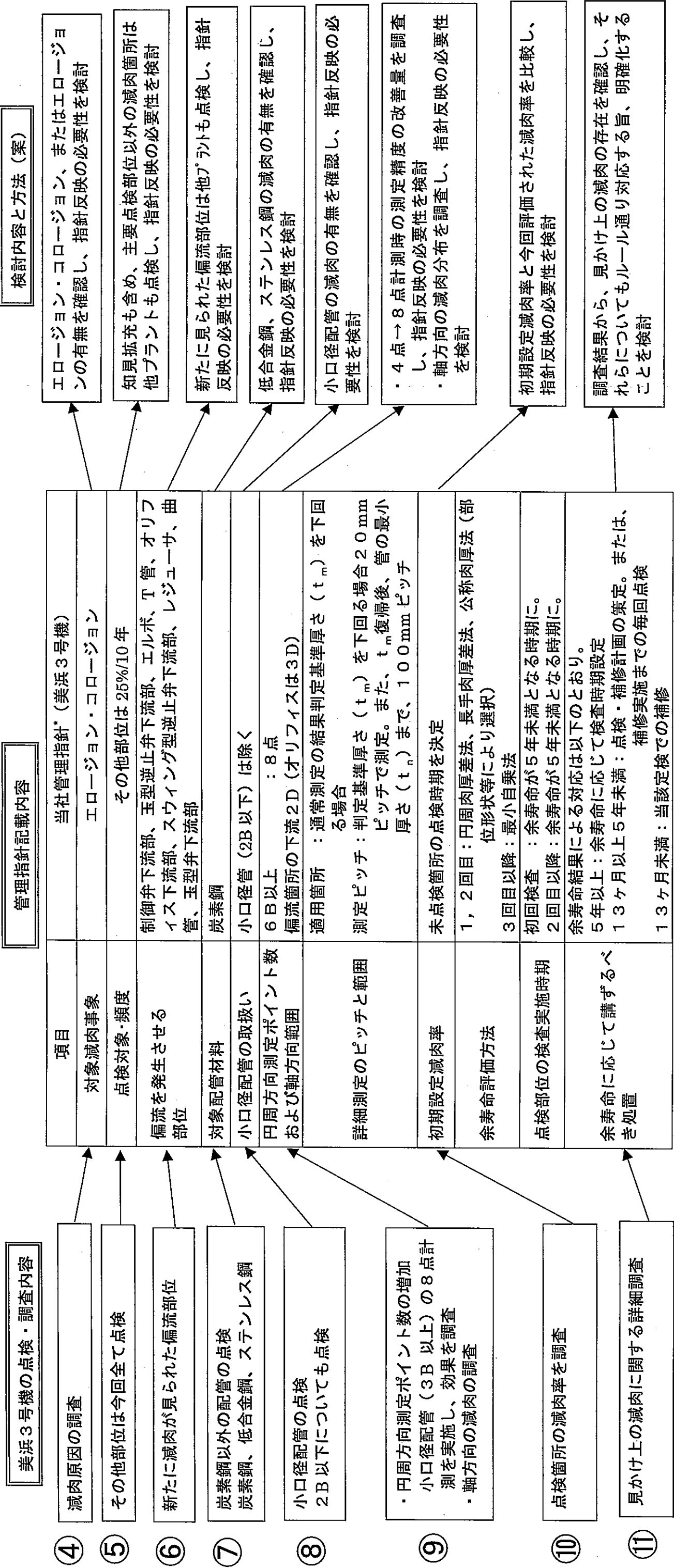
<点検結果と対応> ②、③



6260箇所について肉厚測定を実施し、全対象箇所の減肉傾向の有無を確認、適正な管理の下におくことができた。配管取替を実施し、対象箇所の健全性を確認、確保した。

2. 点検により得られた知見の整理（管理指針の改善検討）

今回の点検結果で得られた知見と管理指針記載項目を照らし合わせて、管理指針の妥当性の確認を行う。



⑫、⑬

結果

今回の点検で得られた新たな知見（新たな減肉発生部位や偏流発生部位等）について、点検結果や他プラントの点検結果を踏まえ、適宜最新の管理指針に反映（美浜3号機の点検内容は上記検討内容を全て包絡している）

* 原子力設備2次系配管肉厚の管理指針（PWR）平成2年5月に従い、社内管理方法を定めたもの